

第1回人間科学部スポーツ健康 コースゼミ合同発表会

人間科学部 人間科学科3年 狐塚 宏美 小川 諒平

1、はじめに

毎年恒例となった人間科学部のスポーツ大会「神人祭」は、今年で9回目の開催を迎え、スポーツ健康コースの学生達の交流の場としてより多くの学生に認知されるようになりました。今年度の神人祭は昨年までとは異なり、6月7日のスポーツ大会、2月2日の合同発表会とその規模を拡大し、より大々的な催しとして、学生が日ごろの学習や研究の成果を披露し合う場となりました。今回、実行委員として企画運営に携われたこと、また発表者として登壇できたことは、学生生活においてかけがえのない経験となりました。

2、発表会当日にむけて

6月に行われたスポーツ大会は、悪天候のため参加人数は少なかったものの、教員と学生が共に汗を流し、スポーツを心から楽しむことが出来ま

した。

今年度より新たに開催された「人間科学部スポーツ健康コースゼミ合同発表会」は、スポーツ健康コースの学生が一同に会する研究発表の場として、普段のゼミ活動から一歩踏み出し、異なる分野の研究を見聞きできる貴重な場となりました。今回、より多くの学生に参加してもらうため、早い段階から周知を行い、各ゼミの代表やゼミ長と発表会当日について話し合いを重ねていきました。

発表会は予選大会・決選大会と1日に渡り、「学生の発表を外部の方々にも聞いてもらい、学生との交流の場を設けよう」と考える先生方のもと、各界で活躍する企業の方やOB・OGを審査員としてお招きし、横浜マリンノスの代表による基調講演も行われました。今回の発表会の目的は、学生間の交流のみならず、緊張感を持って大勢の前で発表することや、社会で活躍する人々との交流から、我々学生が「成長すること」とされてきたので、普段なかなか関わることの出来ない外部

の方々には直接発表を聞いていただくのは、学生にとって良い刺激になると感じました。そして、当日はより多くの発表が行えるよう、綿密なタイムテーブルを作成し、スムーズな進行を目指して力を尽くしていきました。

3、予選大会・決選大会の様子

発表会当日は我々実行委員のみならず、早朝から多くの学生が集まり、慌ただしく準備が進められていきました。話を聞いてみると寝る時間を削り発表の準備に取り組んでいた学生もいるようでした。予選大会が始まると、発表者の勇姿を一目見ようと朝早くから集まってくれている学生たちが多くみられました。学生は皆それぞれの発表を熱心に聴き、普段自分が専門で学んでいる分野とは異なる内容に興味深く聴き入る姿が印象的でありました。発表を控える学生たちは、緊張した面持ちで自分の出番を待ち、発表スライド

を何度も見返している姿から、真剣さが伝わってきました。決戦大会では多くの審査員の方々があり昨年までの神人祭とは違った緊張感の中行われました。決戦大会に勝ち進んだ学生たちの発表はどれも素晴らしく、各分野の専門的な部分を分かりやすい表現でまとめ、審査員や見ていた学生たちに伝わりやすい内容となっていました。さらに決選大会では制限時間が3分間延びたため予選よりもさらに深く興味深い内容でした。発表を終えた学生たちのほとんどがとても良い顔をしていました。

4、おわりに

これまでスポーツ健康コースの各ゼミが集まる発表の場が無かったことから、この規模での開催は正直不安な面が数多くありました。しかし、発表会を終えた今、成功した喜びと仲間と共にやり遂げた達成感に満ち溢れています。また、初めての試みにも関わらず多くの学生が意欲的に参加してくれたことを非常にうれしく思います。本大会が学生たちのゼミ活動の集大成として、研究成

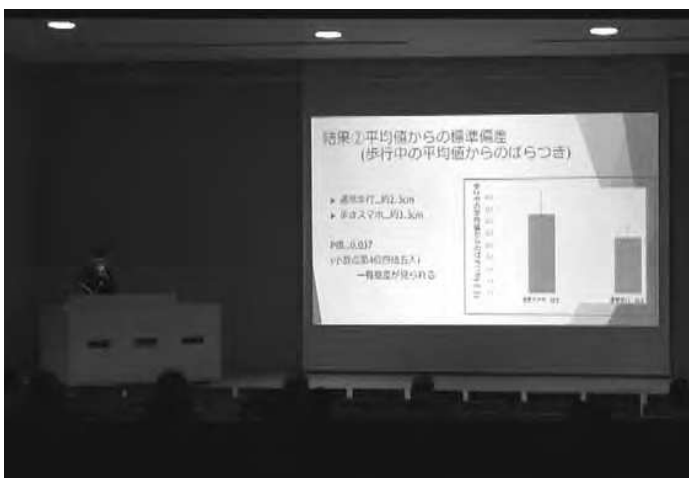
果を披露する絶好の機会となり、今後の研究意欲を高めることに繋がったのではないのでしょうか。事前準備の段階では先生方に任せきりの部分が多かったため、今後は学生が主導となり、発表会の運営を行っていければと思います。今回の反省は来年度の実行委員に引き継ぎ、より良い運営を目指してもらいたいと思います。最後に、今回の発表会を開催するにあたって協力していただいた先生方、我々学生の中心に立ち指導して下さった太田先生、後援の人文学会に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



基調講演



予選大会



決選大会